

Nivolumab+Ipilimumab 療法 (MSI-High)

ニボルマブ(オプジーボ®)+イピリムマブ (ヤーボイ®)

【適応】

がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸がん

【投与スケジュール】

	Day1	Day14
ニボルマブ 240mg 点滴静注(30分以上)	↓	
イピリムマブ 1mg/kg 点滴静注(30分以上)	↓	

3週ごと 4コース

<注意>

ニボルマブ投与完了後、30分以上の間隔をおいてイピリムマブを投与
4コース終了後は、以下のいずれかのニボルマブ単独療法を継続する

	Day1	Day14
ニボルマブ 240mg/Body 30分以上かけて	↓	

2週ごと PD (憎悪) まで。

	Day1	Day28
ニボルマブ 480mg/Body 30分以上かけて	↓	

4週ごと PD (憎悪) まで

- ニボルマブ投与時、インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)のある点滴ルートを用いて投与すること。
- 希釈する場合、1回240mg投与時の総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下となるように調製すること。
- 本剤の作用機序に基づき、過度の免疫反応による副作用があらわれることがある。これらの副作用は、対応によっては重篤または死亡に至る可能性がある。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、発現した事象に応じた専門医と連携して適切な鑑別診断を行い、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うことが必要。